

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
53	東京造形大学	オフィスデザイン	地主 広明	2	後期	木	14	9:00～12:30	東京造形大学	5

【到達目標】

- ・デスクレイアウトにとどまらない高次元なオフィス・プランニングが表現できる。
- ・オフィス・プランニングにとどまらない高次元なインテリア・デザインが考察できる。
- ・機能的なインテリア・プランニングが表現できる。
- ・合理的なインテリア・プランニングが表現できる。
- ・社会的見地から考察したインテリア・デザインが表現できる。

【授業の概要】

かつて、住まう場としての「住宅」、生産の場としての「オフィス」、そして消費する場である「都市」は、空間として明確に差別化されていた。しかし、情報技術の変革によって、現在では家にいながら働き、消費し、情報を受発信することが可能となった。つまり、都市の中で、空間形式のボーダーレス化が始まっているのである。本授業では、その都市の中の形式空間の一角を担うオフィスのデザインを通して、明日の都市の様相を思考し計画する。

また、具体的なオフィスのデザインは、特定多数の人間が生きる空間を作り出すことでもある。言い換えると、特定の集団のインタラクティブなコミュニケーションを作り出すことでもある。そのため、人と人との関係や配置、物理的な距離、コミュニケーションを生み出す装置等を思考することになるが、それは、都市プランニング、住宅プラン、インテリア計画の基礎をなざることでもある。本授業の主体はオフィスであるが、オフィスデザインを通して、都市や空間、住宅計画の基礎をなざること本授業のもう一方の目的である。

【授業内容】

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| 1. オリエンテーション～関連講義 | 6. 課題 A 説明・演習 | 11. 課題 B 演習 |
| 2. 講義 01 | 7. 課題 A 演習 | 12. 課題 B 演習 |
| 3. 講義 02 | 8. 課題 A 演習・提出 | 13. 課題 B 演習・提出 |
| 4. 講義 03 | 9. 課題 A 合評会 | 14. 課題 B 合評会 |
| 5. 講義 04 | 10. 課題 B 説明・演習 | |

【成績評価方法】

授業参加点数(40%)、課題作品点数(60%)を基準に、意欲、積極性、課題の提出状況とその内容等から総合的に評価する。ただし、授業回数の1/3を超えて欠席した場合は単位を取得できない。

【履修上の注意】

課題制作はCAD(Vectorworks(Mac))で行う。以上のCAD操作が出来ることが望ましい。ただし、手描きでの提出でも可。

【教科書】

特になし。

【参考書、教材等】

必要に応じて参考資料等を授業内で配付する。

※ この授業は、9/10(木)が初回です。